

海水核種分析結果 < 沿岸 福島第一原子力発電所 >

参考値

(データ集約 : 8/15)

採取場所	福島第一 5,6号機放水口北側 (5,6号機放水口から北側に約30m地点)		福島第一 南放水口付近 (1~4号機放水口から南側に約1.3km地点)		炉規則告示濃度限度 (Bq/L) (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
試料採取日時時刻	平成26年8月14日 7時00分		平成26年8月14日 5時15分		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND(0.74)	-	ND(0.80)	-	40
Cs-134 (約2年)	ND(0.57)	-	ND(0.64)	-	60
Cs-137 (約30年)	1.2	0.01	ND(0.82)	-	90

炉規則告示濃度は、「Bq/cm³」の表記を「Bq/L」に換算した値

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

海水核種分析結果 < 1/5 >

(データ集約 : 8/15)

採取場所 (地点番号)	福島第一 5,6号機放水口北側 (5,6号機放水口から北側に 約30m地点)(T-1)		福島第一 南放水口付近 (1~4号機放水口から南側に 約1.3Km地点)(T-2-1)		/		炉規則告示濃度限度 Bq/L (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
	試料採取日	平成26年7月7日		平成26年7月7日		/	
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND(0.65)	-	ND(0.83)	-	/	/	40
Cs-134 (約2年)	ND(0.62)	-	ND(0.74)	-	/	/	60
Cs-137 (約30年)	ND(0.57)	-	1.2	0.01	/	/	90
H-3 (約12年)	ND(1.7)	-	ND(1.7)	-	/	/	60,000
全	ND(1.5)	-	ND(1.5)	-	/	/	-
全	11	-	11	-	/	/	-
Sr-90 (約29年)	0.067	0.00	ND(0.0088)	-	/	/	30

炉規則告示濃度は、「Bq/cm³」の表記を「Bq/L」に換算した値
 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。
 I-131, Cs-134, Cs-137, 全 については、7月8日公表。H-3については、7月11日公表。
 NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。
 Sr-90の分析は日本分析センターにて実施。

(評価)

全 放射能, Sr-90が検出されており, 今回の事故による影響と考えられるが, Sr-90の濃度は, 告示に定める水中の濃度限度を下回る状況である。

海水核種分析結果<2/5>

(データ集約：8/15)

採取場所 (地点番号)	福島第二 北放水口付近 (T-3) (3,4号機放水口付近) (福島第一から約10km地点)		請戸港南側(T-6) (5,6号機放水口から北側に約5.5km地点)				炉規則告示濃度限度 Bq/L (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
試料採取日	平成26年7月1日		平成26年7月1日				
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	
Cs-134 (約2年)	0.038	0.00	0.021	0.00	/	/	
Cs-137 (約30年)	0.11	0.00	0.067	0.00	/	/	90
H-3 (約12年)	ND	-	0.56	0.00	/	/	60,000
全	ND	-	ND	-	/	/	-

炉規則告示濃度は、「Bq/cm³」の表記を「Bq/L」に換算した値

試料濃度が「-」とは、測定対象外を示す。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

Cs-134,Cs-137については、8月13日公表。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

H-3が約0.35Bq/L, 全 が約17Bq/L。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

(評価)

H-3が検出されており、今回の事故による影響と考えられるが、告示に定める水中の濃度限度を下回る状況である。

海水核種分析結果<3/5>

(データ集約：8/15)

採取場所 (地点番号)	福島第二 北放水口付近 (T-3) (3,4号機放水口付近) (福島第一から約10km地点)		請戸港南側(T-6) (5,6号機放水口から北側に約5.5km地点)				炉規則告示濃度限度 Bq/L (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
試料採取日	平成26年7月15日		平成26年7月15日				
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	
Cs-134 (約2年)	0.026	0.00	0.033	0.00	/	/	
Cs-137 (約30年)	0.070	0.00	0.088	0.00	/	/	90
H-3 (約12年)	0.32	0.00	0.36	0.00	/	/	60,000
全	ND	-	ND	-	/	/	-

炉規則告示濃度は、「Bq/cm³」の表記を「Bq/L」に換算した値

試料濃度が「-」とは、測定対象外を示す。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

Cs-134,Cs-137については、8月13日公表。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

全 が約18Bq/L。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

(評価)

H-3が検出されており、今回の事故による影響と考えられるが、告示に定める水中の濃度限度を下回る状況である。

海水核種分析結果 < 4/5 >

(データ集約 : 8/15)

採取場所 (地点番号)	福島第一 敷地沖合15km(T-5) 上層		請戸川沖合3km (T-D1) 上層		福島第一 敷地沖合3km(T-D5) 上層		炉規則告示濃度限度 Bq/L (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
試料採取日	平成26年7月1日		平成26年7月2日		平成26年7月2日		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	
Cs-134 (約2年)	0.0015	0.00	0.0022	0.00	0.0061	0.00	60
Cs-137 (約30年)	0.0063	0.00	0.0082	0.00	0.017	0.00	90
H-3 (約12年)	0.34	0.00	0.36	0.00	ND	-	60,000
全	ND	-	ND	-	ND	-	-
全	ND	-	ND	-	ND	-	-
Sr-90 (約29年)	ND	-	ND	-	ND	-	30

炉規則告示濃度は、「Bq/cm³」の表記を「Bq/L」に換算した値

試料濃度が「-」とは、測定対象外を示す。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

Cs-134, Cs-137については、8月13日公表。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

H-3が約0.32Bq/L, 全 が約1.9Bq/L, 全 が約18Bq/L, Sr-90が約0.009Bq/L。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

Sr-90の分析は日本分析センターにて実施。

(評価)

H-3が検出されており、今回の事故による影響と考えられるが、H-3の濃度は、告示に定める水中の濃度限度を下回る状況である。

海水核種分析結果 < 5/5 >

(データ集約: 8/15)

採取場所 (地点番号)	福島第二 敷地沖合3km(T-D9) 上層						炉規則告示濃度限度 Bq/L (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
試料採取日	平成26年7月1日						
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	
Cs-134 (約2年)	0.0089	0.00	/	/	/	/	60
Cs-137 (約30年)	0.026	0.00	/	/	/	/	90
H-3 (約12年)	0.35	0.00	/	/	/	/	60,000
全	ND	-	/	/	/	/	-
全	ND	-	/	/	/	/	-
Sr-90 (約29年)	ND	-	/	/	/	/	30

炉規則告示濃度は、「Bq/cm³」の表記を「Bq/L」に換算した値

試料濃度が「-」とは、測定対象外を示す。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

Cs-134, Cs-137については、8月13日公表。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

全 が約1.9Bq/L, 全 が約16Bq/L, Sr-90が約0.009Bq/L。

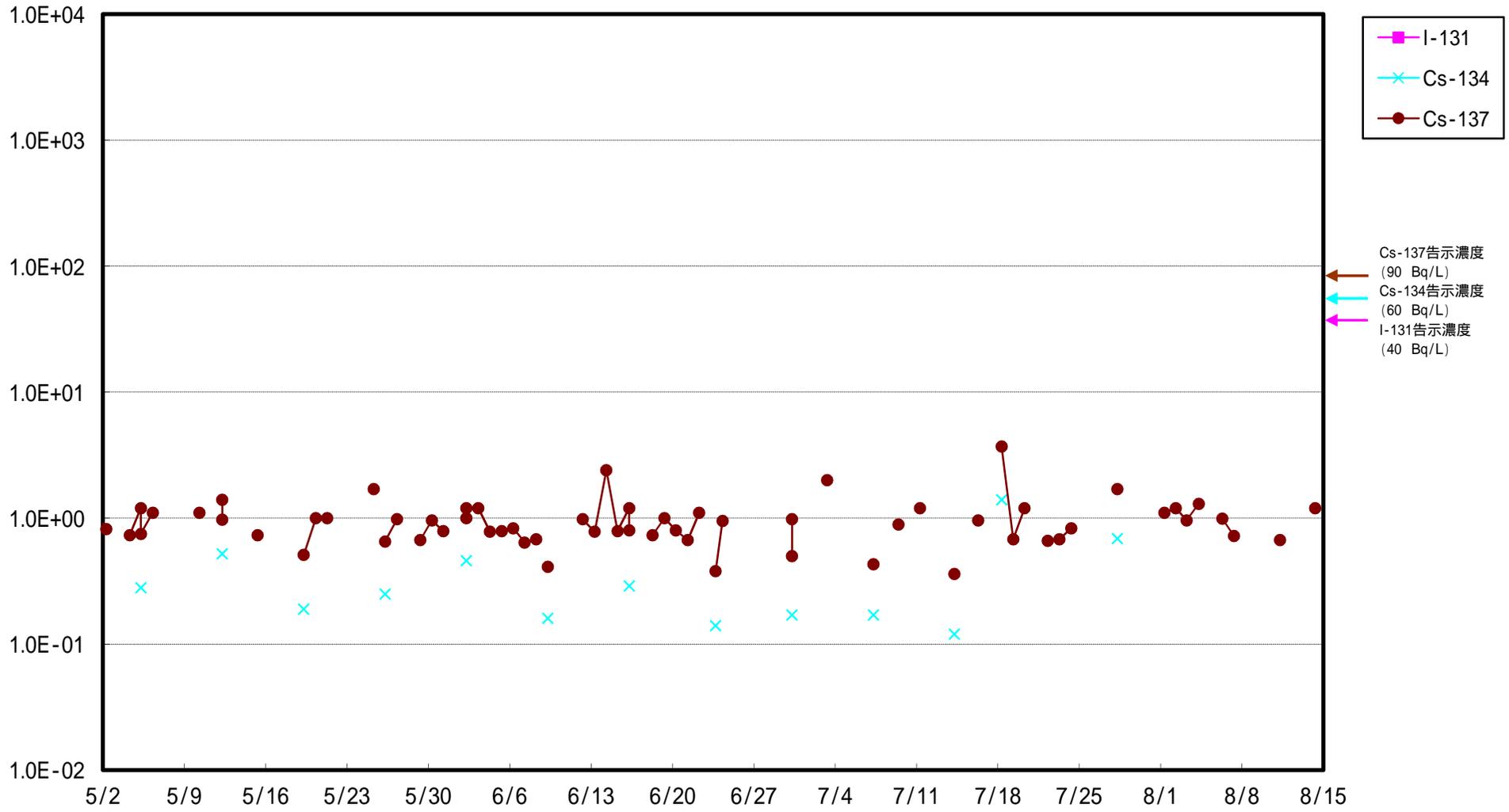
ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

Sr-90の分析は日本分析センターにて実施。

(評価)

H-3が検出されており、今回の事故による影響と考えられるが、H-3の濃度は、告示に定める水中の濃度限度を下回る状況である。

福島第一 5,6号機放水口北側 海水放射能濃度 (Bq / L)



福島第一 南放水口付近 海水放射能濃度 (Bq / L)

